

平成30年6月5日

報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

「山梨大学水晶庫」移設セレモニー開催について（お知らせ）

本学では、甲府西キャンパスにある「山梨大学水晶庫」を、現在建設中の「山梨大学大村智記念学術館」北側に、曳家方式（建物を解体せずに移動する）で移設することとしました。

水晶庫は、山梨県師範学校（本学の前身）当時に、蕪崎市出身の百瀬康吉氏より寄贈していただいた水晶及び水晶加工品を保存する目的で、昭和2年に建設されました。（水晶庫の詳細は次頁を参照願います）

移設後は、大学が所蔵する多くの水晶や水晶工芸品の中から、学術的に価値のある品々を展示することとし、現在建設中の「山梨大学大村智記念学術館」（7月19日開館予定）に展示する大村特別荣誉博士縁の品々とともに、一般の方々にも無料で鑑賞していただけるよう整備しています。

つきましては、下記の通り、移設セレモニーを開催しますので、取材方よろしくお願ひ申し上げます。（学術館の開館に関しては後日改めてご案内申し上げます。）

記

日 時：平成30年6月7日（木）13時00分～14時00分

場 所：山梨大学甲府西キャンパス「水晶庫」前

※ 詳細は別紙をご覧ください

注1) 当日はセレモニーとして若干移動（実際の移設場所までは移動しない）

注2) 雨天により中止する場合は、当日11時30分までにFAXでご案内します。

問い合わせ先

総務部総務課広報企画室 望月

電 話：055-220-8005 E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

【水晶庫について】

1. 建設の経緯

韮崎市出身の百瀬康吉氏が明治26年頃から甲州地方に産する水晶や鉱物など学術的価値の高い資料を収集していたが、郷土に保存したいとの意向から、大正8年に当時の山梨県師範学校（本学の前身）に寄贈され、これらを保存するために、昭和2年に鉄筋コンクリート造り平屋建て（約40㎡）の水晶庫が建設された。

2. 移設の経緯

- ① 学術館1階に大村特別栄誉博士縁の品々を展示するにあたり、それとともに水晶類標本を再び広く一般の方にご鑑賞いただけるよう整備する。
- ② 水晶庫の跡地周辺は、本学の安全・防災上の観点から防災広場として整備する。

3. 水晶類標本の展示

本学が所蔵する水晶類標本は、平成25年から山梨県庁防災新館「ジュエリーミュージアム」で展示しているが、学術館建設を機に、その一部を戻してご鑑賞いただけるようにする。



写真は既設の水晶庫
鉄筋コンクリート造り平屋建
延床面積：約40㎡（7.3m×5.4m）
重量：建物重量 約70t

【移設の工程】※別紙地図をご参照下さい

水晶庫の基礎部分を補強した後、枕木及びレールを敷いて移動させます。

6月7日（セレモニー当日）

本学学長・理事・副学長・学域長・部長ら約20名が、水晶庫に括り付けられたロープを北方向へ引っ張り、若干移動させます。

6月8日～6月15日頃

学術館建設地北側まで移動（現地から北へ約18m移動→東へ約25m移動）

6月15日頃～6月20日頃

その場で時計回りに90°回転（入口を西側に）

【地図】



拡大図

